

## 教 育 民 生 委 員 会 会 議 録

1. 日 時 平成23年6月20日(月曜日)  
午前 9時30分～午前10時55分 現地視察  
午前11時11分～午前11時37分 机上審査
2. 場 所 委員会室
3. 出席委員 山本昌二委員長 岡山 隆 副委員長  
徳並伍朗委員 大中 宏 委員  
柴崎修一郎委員 荒山光広委員  
西岡 晃 委員 河本芳久委員  
秋山哲朗議長
4. 欠席委員 なし
5. 出席した事務局職員  
重村暢之 議会事務局長 岩崎敏行 議会事務局主査  
岡崎基代 議会事務局主査
6. 説明のため出席した者の職氏名  
村田弘司 市長 林 繁美 副市長  
永富康文 教育長 山田悦子 教委事務局長  
石田淳司 教委事務局次長 月成庄造 教委学校教育課長  
末藤勝巳 教委社会教育課長 高橋文雄 教委文化財保護課長  
堀 洋 数 教委体育振興課長 金子 彰 市民福祉部長  
杉原功一 市民福祉部市民課長 佐々木郁夫 市民福祉部生活環境課長  
原川清史 市民福祉部健康増進課長 佐々木彰宣 市民福祉部地域福祉課長  
白井栄次 市民福祉部高齢福祉課長 平田耕一 美東総合支所市民福祉課長  
西村克彦 秋芳総合支所市民福祉課長

午前 11 時 11 分開会

委員長（山本昌二君） それでは皆さんこんにちは。これまで委員会といたしまして、豊田前のほうと秋吉のほうの現地調査をいたしました関係で、ちょっと時間がずれて大変申し訳ございません。これより委員会を開会させて頂きたいと思っております。よろしくお祈いします。先の本会議におきまして、本委員会に付託されました議案 2 件につきまして、審査いたしたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお祈い申し上げます。市長さん、何かご報告等ございませんか。

市長（村田弘司君） いえ、ございません。よろしくお祈いします。

委員長（山本昌二君） 議長さん。

議長（秋山哲朗君） 特にごございません。よろしくお祈いします。

委員長（山本昌二君） 各委員さん、何かありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山本昌二君） それではこれより審査を始めたいと思っております。最初に議案第 6 号美祢市児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部改正についてを審査いたします。執行部より説明を求めます。佐々木地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（佐々木彰宣君） それでは美祢市児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部改正につきましてご説明をいたします。この度の改正は、現在、美祢市社会福祉協議会に業務委託し、高齢者コミュニティセンターで運営しております秋吉児童クラブが手狭で事業に支障を来していることから、秋吉保育園と併設されております秋吉デイサービスセンターが、社会福祉法人豊徳会が経営母体の地域密着型小規模特別養護老人ホームの開設に併せまして、平成 23 年 7 月 31 日をもちまして廃止されることから、一部を改修いたしまして秋吉デイサービスセンター跡へ移転することとしております。以上によりまして、秋吉児童クラブの位置を、現在の秋芳町秋吉 5 3 1 3 番地から秋芳町秋吉 5 3 2 0 番地 1 に改正するものであります。よろしくお祈いいたします。

委員長（山本昌二君） ありがとうございます。説明が終わりましたが、本案に対する質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山本昌二君） それではご意見等ございませんので、これより議案第 6 号美祢市児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部改正についてを採決いたしま

す。

本案について原案のとおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山本昌二君） 全員異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決されました。ありがとうございました。

次に議案第1号平成23年度美祢市一般会計補正予算（第5号）の本委員会所管事項について審査いたします。執行部より説明を求めます。佐々木地域福祉課長。市民福祉部地域福祉課長（佐々木彰宣君） それでは民生費の補正予算についてご説明いたします。平成23年度美祢市一般会計補正予算（第5号）の12、13ページをお開きください。まず歳出につきましてご説明いたします。款民生費・項児童福祉費・目児童福祉総務費・節委託料におきまして238万1,000円計上しております。これは新たに豊田前公民館の一室で実施いたします児童クラブの開設に伴う委託料であります。児童クラブ開設につきましては、地区内からの要望が出ているところであり、市といたしましても保護者の就労支援の立場からも児童クラブ設置を推進したところであり、同じく、節工事請負費におきまして81万5,000円を計上しております。これは厚保児童クラブと本郷児童クラブに冷房設備を整備する経費であります。現在、市内の9施設で児童クラブを行っておりますが、今回要望した2施設のみが冷房施設が整備されておられません。利用者からの強い要望もあり、夏季における熱中症の予防など児童の健康管理に努めるため整備するものであります。以上歳出についてご説明申し上げました。よろしくお願いたします。

委員長（山本昌二君） はい、次に堀体育振興課長。

教育委員会事務局体育振興課長（堀 洋数君） それでは、歳入歳出予算補正の歳出をご覧下さい。10款教育費・6項保健体育費として500万円増額補正するものでございます。併せて1-14、15ページをご覧下さい。10款教育費・6項保健体育費・目1保健体育総務費・節負担金、補助及び交付金として、ドリーム・ベースボールin美祢市実行委員会補助金150万円を増額補正するものでございます。これは本市において昨年度から招致活動を行って参りました宝くじスポーツフェア、ドリーム・ベースボール名球会OBクラブがやってくる事業の開催決定の通知を受け、これに係る事業経費として補正するものでございます。事業内容

といたしましては、本年9月4日、日曜日に財団法人自治総合センターの宝くじ事業として日本プロ野球名球会及び社団法人全国野球振興会、すなわち日本プロ野球OBクラブの会員である元野球選手24名による地元チームとの親善試合、少年少女を対象の野球教室、名球会代表者によるふれあい講演会等を市民球場、市民会館において行うものであります。続きまして、目2 体育施設費・節15 工事請負費、001 市民球場経費として施設整備工事350万円を増額補正するものでございます。これは本市、市民球場バクネット及びバックスクリーン側に設置してあります。コールランプ、すなわちSBOと申しまして、ストライク・ボール・アウト、その頭文字を取りましてSBOと言いますが、この方式からBSO、ボール・ストライク・アウトのコールサインが変わりますので、これに伴いまして、その改修工事並びにバックスクリーンの塗装工事がございます。これにつきましては、施設整備に伴う環境整備も国体野球競技開催において、他府県選手や応援に来られた方々地元観客にも気持ちよく観戦して頂き、交流の場を深めることも開催引受地としてのおもてなしの心に通じるのではなかろうかと思っております。なお、山口国体関連施設整備助成金として、財団法人山口県市町村振興協会から2分の1の補助がございまして、以上でございます。

委員長（山本昌二君） はい、ありがとうございました。佐々木地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（佐々木彰宣君） それでは次に歳入につきましてご説明いたします。8ページ、9ページをお開きください。款分担金及び負担金・項負担金・目民生費負担金・節児童福祉費負担金といたしまして10万8,000円を計上しております。これは利用料であります。歳出でご説明いたしました児童クラブ運営委託料238万1,000円の計上に対応する負担金部分であります。続きまして、その下の款県支出金・項県補助金・目民生費県補助金・節児童福祉費補助金として227万3,000円を計上しております。これは歳出でご説明いたしました児童クラブ運営委託料238万1,000円に対応する県費補助金部分でありまして、児童クラブ運営委託料から負担金を差し引いた額となっております。補助率といたしましては10分の10となっております。以上でございます。

委員長（山本昌二君） はい、堀体育振興課長。

教育委員会事務局体育振興課長（堀 洋数君） それでは同じく1-8、9ページをお開き下さい。20款諸収入・6項雑入・目3雑入・節10教育雑入175万の

増額補正を行うものでございます。これは山口国体関連施設整備費助成金として歳出の際にもご説明いたしました。市民球場経費の施設整備工事費の2分の1の助成金が見込まれますので、この度計上いたしました。以上でございます。

委員長（山本昌二君） 説明が終わりましたが、何か質疑はございませんか。はい、徳並委員。

委員（徳並伍朗君） ドリーム・ベースボール in 美祿でちょっとお聞きしたいんですが、日にちも決まっておるといふことでもありますし、最近セ・パ両リーグでもう済みましたが非常にプロ野球の関心も非常に強いわけでございます。ということから考えたら、昔名球会名球会と言っておりましたが、その選手24名ですか来られるというのですが、だいたいこの美祿市に来られる選手の名前もある程度わかっているんじゃないかなというふうに思いますが、その辺が分かれば早めに言って頂くと、山口県でもそんなにその名球会ということでもこの地区もですねやっておられないというふうに思っておりますし、これは森中県議が非常にお世話をして頂いたということもあります。是非ともその選手名等がわかれば今、これはもちろんどのようになるか分かりませんが、だいたいの予想と言いますか、分かればちょっとどなたか発表できればしていただきたいというふうに思います。

委員長（山本昌二君） はい、村田市長。

市長（村田弘司君） 今、徳並委員のご質問があった件ですが、非常に市民の方も楽しみにされるだろうと思います。かつてセ・パの球場を賑わせて国民の心を華やぐものにしていただいたすばらしい方々ばかりの名球会、OB会ですねプロ野球の24名ということです。国民名誉賞を受けられました王貞治さんがきていただければということで、アクセスをしております。ご本人はですね是非とも美祿のほうに行きたいという言葉も頂戴をしておるところでございますけれども、先方名球会、OB会ですね、それぞれの方の調整事項がございますので、最終的にはどういう方が来られるか分かりません。村田兆治さんとか金田正二さんとかいろいろいらっしゃいますので、どの方が最終的に来られるかはっきり分かっておりませんが、是非とも王貞治さんには来て頂きたいということで、ご本人のほうにはお願いはしておるといふ状況です。まだちょっと先方がありますので、明確になかなか言えないということがありますけど、なるべく市民の方に応えられる期待に応えられる方をですね招聘をしたいということで調整をさせていただきます。徳並委員よろしゅう

ございますでしょうか。

委員長（山本昌二君） 市長さんありがとうございました。是非、王貞治監督よろしく申し上げます。他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山本昌二君） いいですね。それではこれより議案第1号平成23年度美祢市一般会計補正予算（第5号）を採決いたします。

本案について原案のとおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山本昌二君） 全員異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決されました。ありがとうございました。

以上で本委員会に付託されました議案2件につきまして、審査を終了いたしました。そのほか委員さんの方で何かありましたら。はい、荒山委員。

委員（荒山光広君） 二点ほどちょっと質問させて頂きたいと思うんですが、先の補正で市民会館の椅子を更新されるということが決まったようですけども、今進捗状況はどのようになっているかということ。というのがこの秋に県のPTA連合会の何か大会が美祢でどうも引受があるようで、できればその時に間に合えばと思うんですが、今の進捗状況がどういうふうになっておるかということと、もう一つは今計画されております大嶺中学校の校舎の建て替えですけども、この辺の進捗がどういふふうになっているのか、その二点についてお聞かせ頂きたいと思います。

委員長（山本昌二君） はい、末藤社会教育課長。

教育委員会事務局社会教育課長（末藤勝巳君） 只今のご質問でございますけれども美祢市民館の椅子の購入でございますけど改修工事でございますけれども、現在既存の椅子が934席でございますけれども、これが726席になります。そして6月の7日に入札が執行されまして、工期が6月の8日から8月の末となっております。その間に撤去、据え付け、床等の張り替えを行います。工期は8月の31日でございます。以上です。

委員長（山本昌二君） はい、石田教育次長。

教育委員会事務局次長（石田淳司君） 大嶺中学校の改築の件でございます。現在の進捗状況はということでございますが、今設計についての最終積算に入っておるところでございます。現在の予定では7月の下旬に起工いたしまして、8月の上

旬に入札、金額からして1億5,000万円を超えようかと思しますので、臨時市議会を招集をするようになろうかと思しますが、契約者について決議を頂くということになろうかと思します。従いまして実際に工事に入りますのは、9月の中旬頃かなというふうに考えておるところでございます、現在の予定では来年の末には校舎は完成するというところで計画をしてるところでございます。しかしながら震災の影響で納入資材等がちょっと今不透明なところもございますので、最終的な完成につきましては、現在のところはっきりしていないというところございまして、またその辺のことにつきましては、いろんな方法で周知をしたいというふうに考えているところでございます。以上です。

委員長（山本昌二君） はい、ありがとうございました。ほかにございませんか。

はい、岡山副委員長。

副委員長（岡山 隆君） きょうですね、9時半から新設の豊田前保育園を見てまいりまして、それぞれの委員の皆さん等もありまして、今回ですね、そこにも今回対象となる児童クラブも入って行くということでもありますけれども、今回施設を回って2階に豊田前の保育園新設されておりましたですね、2階の非常口ちょっときょう確認したんですけど、通常門はいいんですけど非常口ですね、そこにですねドアノブですねこれにキャップがしてあって、そしてボルト締めされてるわけですよ。プラスチックの、だから実際おとなの人じゃたらぱっと対応できますでしょうけど、そのままの状態やったら子どもの力じゃたらなかなか破れませんし、ちょっとその辺、もしなんかあったときに子どもだけの力で逃げようとした場合、ちょっと無理かなと思しましたので、ちょっとその辺について、今日行かれた方もその辺についてはどのようなお感じでありましたでしょうか。ちょっとその辺をお尋ねしたいと思います。

委員長（山本昌二君） はい、佐々木課長。

市民福祉部地域福祉課長（佐々木彰宣君） それでは只今のご質問にお答えいたします。2階の非常口のドアノブのキャップについてでございますが、これは当初から社会復帰促進センターのほうでですね整備されておるんですけど、これにつきましてはちょっと私どもで判断しかねますので、また協議をいたしまして、児童でも、非常事態の時には児童でも対応できるように、社会復帰促進センターと協議いたしまして、対応して行きたいと考えております。以上です。

委員長（山本昌二君） はい、金子福祉部長。

市民福祉部長（金子 彰君） 今、佐々木課長のほうがお答えをさせていただいたところなんですけども、確かにドアノブにキャップがかかっておりまして、内側から児童が開けることは非常に困難であろうというふうに思いますけども、ただ内側からひねって開けるようなドアノブでございました。従いまして、児童がですね、保育士さんが目を離れたすきに一人で出てしまうというようなところもありますので、その辺を踏まえまして、センターのほうと協議をさせていただければというふうに思います。以上です。

委員長（山本昌二君） はい、岡山副委員長。

副委員長（岡山 隆君） 当然そうだと思いますけれども、いずれにしても緊急性とかなんかあった場合、金子市民福祉部長にも私その時にちょっとお話ししたと思いますけれども、金槌か何かないとですね破れないような状態で、それであと開くという形になってますので、どういう形が一番いいかちょっと難しいところもあると思いますけれども、しっかりとこの辺についてはセンター側とまた保育園側とも、どういう形が一番いいかということをごすね、しっかりと協議して一番いい方法をとっていただきたいこのように思っております。よろしく申し上げます。

委員長（山本昌二君） ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山本昌二君） ほかにないようでございますので、これにて本委員会を閉会いたしたいと思っております。ご審査、ご協力誠にありがとうございました。お疲れ様でございました。

午前11時37分閉会

---



上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成23年6月20日

教育民生委員長

山本 昌二